

椎の木



携帯電話・スマホの防犯教室について

11月14日(水) KDDI より講師を招き、全校で携帯電話・スマホの防犯教室を行いました。この教室は7月に予定していましたが、猛暑のために順延となっていたものです。ライン等によっての写真のやりとりから会うことを強要されたり、金品を要求されたりする、なりすまし被害や、陰口等の書き込みによって仲間関係にトラブルが起こる事例等見て、今後どのように活用したらよいか、被害に遭わないようにするためにはどのようにしたらよいか、全校で考えました。ご家庭でも使用の約束等について話し合いなどをお願いします。



1年 森田 佳奈美さん

ネットを通じて友達になって会話することは動画を見て、とてもこわいことだと思いました。安心して話せると思って、いろいろな話をしてしまうと、そこで弱みを相手にがき取られて脅されるのを見てとても怖いと思うし、簡単に位置を特定できてしまうことが一番恐ろしいと思いました。でもスマートホンの使い方を間違わなければ、そして家族のルールを守っていればこういうことにはならないと思います。改めて自分で考えてみようと思います。歩きスマホやゲーム課金などはしないようにと思いました。依存症にも気をつけなければと思います。

1年 佐藤 想蘭さん

改めてスマホやインターネットはきちんと使えば、便利で楽しいものだけれど、一歩間違えると自分の身にも相手の身にも危険がある事を感じました。SNSなどはすごく発展していて、世界中の人が見られて便利だけれど、それを利用して悪い人がだまされたり、いじめに発展することはすごく怖いと感じました。インターネットはすごく便利だけれど、いつも危険があって、一度アップされるとそれは一生消えないことを学びました。すごく自分やみんなのために勉強になりました。

2年 片野 楓香さん

インターネットの使い方を学びました。今回はスマホをメインに話をしてくださり、いじめに発展させてしまうとか、個人情報の特定をされてしまうとか、いろいろな危険性を知りました。ゲーム依存が依存症という病気になる事も知り、とても有意義な時間でした。

2年 鈴木 侑恵さん

今回いろいろな事を学びました。まず一つ目はインターネットにあげた写真は一瞬で世界中に広がるということ、大量にその写真がコピーされてばらまかれてしまうこと、それと同時に投稿や拡散した写真は「インターネット上から一生消えない」ということです。私も SNS を使うので十分に注意したいと思います。また、SNS は人の表情や気持ちがうまく伝わりにくいです。ですから現実とインターネット上の世界と佳く区別をしてこれから生活をしていきたいと思っています。

3年 野澤 ちづるさん

3つの動画を見て、インターネットには危険なことがたくさんあると感じました。特にインターネットでは相手の顔が見えないため、気持ちもわかりにくいので、悪用されてしまう可能性があること。年齢は顔もうそをついてもわからないし、信用が来れないと思った。友達同士のトラブルもネット上で増えている。私もスマホを持っているし、友達とメールのやりとりもしているの、使う言葉に気をつけたり、一度書いた文章をもう一度確認してから送るなど注意したいと思った。友達が困っていたらアドバイスしたり、相談にのりたいと思う。

6月の全校ケータイ・スマホ実態調査より(1学期保護者会資料より)

「ラインで仲間外しにあった経験があるのは18名で全体の4%でした。ゲームやアプリの購入でお金を使いすぎた生徒が11名 知らない人とゲームやラインをしているが88名、インターネットで知り合った人と会ったのは12名、インターネットで知り合った人との関係で悩んだ生徒が4名、のめり込んで夜遅くまで使い、寝不足になった生徒が76名」という実態がありました。

ラインでの書き込みは文字で残りますし、相手の顔を見て話をしていないので、気持ち以上のことが伝わり、誤解を生み、更に調整できずに仲間関係にひずみが生まれるケースがあります。

生徒達には人間関係を調整する力を身につけてほしいと願っています。誠意を持って相手と直接話をする力がその基本と考えます。そして自分たちの力では解決できない場合に、冷静に判断をし、大人に救いを求める力も大切な調整力のひとつと考えています。

ストップイットに関する学習会”いじめ撲滅”

11月13日(火) ストップイットジャパンから講師の先生を招き、いじめ防止教室を全学年・全学級で実施しました。いじめを防止するのは、トラブルがあったとき、勇気を持って第三者に相談をしたり、それを知ったり見ている人が勇気を持って止めることが大切です。アプリ「STOPit」は、14年に米国で開発されたスマートフォン用アプリ。いじめを目撃した生徒や被害者が匿名で報告・相談できるのが特徴で、文章や写真・画像などを送り、匿名のまま送信先とやりとりができます。学校ではいじめについて(1)未然防止(2)早期発見(3)早期対応—をめざして取り組んでいます。アプリの導入に併せて、「脱いじめ傍観者教育」と題した授業を行い、同アプリの使い方にとどまらず、一人一人が傍観者にならないための教育を今後もしていきます。

STOPitで匿名相談をしよう まずはアプリをダウンロードしてみましょう。

苦しんでいる友達がいるとき、一人で悩みを抱えているとき

- ①直接相談 ②電話・メールで相談 ③ STOPitで匿名相談 (アプリをダウンロード)

2年 荒井 佳希さん

今回のストップイット集会では一人一人がいじめを止めよう意識すること、そしてその意識を一步でも行動に移すことが大切である事を学びました。「自分は関係ないんだ」と思うのではなく、全員がこの学習で学んだことを心にとめ、東部中からいじめがなくなるように日々の生活の中で意識を高めていくことが大切であると思います。



